

事業番号	09 04 01	事業改善シート (27年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	需要に応える園芸産地育成事業				担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	園芸畜産課		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産			E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
					実施期間	H25 ~		

1 事業の概要

目指す姿	<p>①オリジナル品種や新品目・新技術などの導入、②実需者等の要望に応える生産・流通体制の整備、③園芸産地が持続的・安定的に供給量・品質を確保できる生産の仕組みづくりを進めることにより、競争力の高い園芸産地づくりを実現する。 【達成指標】果樹オリジナル品種の出荷開始時期前進 [(通常H30初出荷) → H27:10t、H28:20t]、3中央卸売市場の4~5月本県アスパラガス入荷量 [H22:260t→H29:350t]、トルコギキョウ10月~11月切花本数 [H22:108万本→H29:250万本]</p>																														
現状(予算編成時)	<p>長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の約70%(H25 園芸作物1,972億円/全体2,832億円)を占める主要部門であり、引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。近年の食の外部化や需要の多様化の進行に対して、「売れる物をつくる」という視点から、①新品目・新品種・新作型等の早期産地化への取組み、②実需者ニーズに対応した生産体制の確立や普及、が一層求められている。</p>																														
県が関与する理由	<p>県関与の必要性あり</p> <p>県民との協働による実施: 実施中</p>	<p>【左記の説明、根拠法令等】 園芸振興に効果的な施策を展開し、農業者等の主体的な参画と協同を促す。長野県食と農業農村振興計画、農畜産業振興事業補助金交付要綱</p>																													
成果目標・事業内容	<p>① 成果目標(H27)</p> <p>果樹オリジナル新品種早期産地化プロジェクト実証ほ 10カ所、アスパラガス産地化プロジェクト取り組み面積12ha、アスパラガス4~5月出荷量300t、トルコギキョウ秋出荷作型モデル地域3地域(JA)、需要に応える新品目・新技術を導入するモデル地区12地区</p> <p>② 事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th colspan="2">H27事業実績</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需要に応える園芸産地育成事業</td> <td rowspan="2">補助金</td> <td rowspan="2">新たな産地を築く園芸品目振興プロジェクト(3件)、マーケット需要対応力・収益力強化事業、園芸産地継承支援事業(補助先:JA全農長野、園振協うまくだ推進部会、産地JA、農業者組織団体等)</td> <td>43,500</td> <td>42,954</td> <td>45,000</td> </tr> <tr> <td>アスパラガス産地化プロジェクト</td> <td colspan="2">アスパラガス1年養成苗の供給による早期産地拡大</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td></td> <td>43,500</td> <td>42,954</td> <td>45,000</td> </tr> </tbody> </table>				項目	実施方法	H27事業実績		H27	H28	(当初)	(決算)	(当初)	(当初)	需要に応える園芸産地育成事業	補助金	新たな産地を築く園芸品目振興プロジェクト(3件)、マーケット需要対応力・収益力強化事業、園芸産地継承支援事業(補助先:JA全農長野、園振協うまくだ推進部会、産地JA、農業者組織団体等)	43,500	42,954	45,000	アスパラガス産地化プロジェクト	アスパラガス1年養成苗の供給による早期産地拡大				合計			43,500	42,954	45,000
項目	実施方法	H27事業実績		H27			H28																								
		(当初)	(決算)	(当初)	(当初)																										
需要に応える園芸産地育成事業	補助金	新たな産地を築く園芸品目振興プロジェクト(3件)、マーケット需要対応力・収益力強化事業、園芸産地継承支援事業(補助先:JA全農長野、園振協うまくだ推進部会、産地JA、農業者組織団体等)	43,500	42,954	45,000																										
アスパラガス産地化プロジェクト			アスパラガス1年養成苗の供給による早期産地拡大																												
合計			43,500	42,954	45,000																										

区 分(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越			
当初予算	43,500	43,500	43,500	45,000
補正予算				
合計(A)	43,500	43,500	43,500	45,000
一般財源	43,500	43,500	43,500	45,000
県 債				
国庫支出金				
その他	0	0	0	0
決 算 額(B)	43,500	43,500	42,954	
概 算 職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
概 算 人件費	2,477	2,477	2,483	2,483
概 算 事業費(B(A)+C)	45,977	45,977	45,437	2,483

項目	H26末(実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
果樹オリジナル新品種早期産地化プロジェクト実証園	10カ所	10カ所	10カ所	達成	—
アスパラガス産地化プロジェクト取り組み面積	8ha	12ha	12ha	達成	—
アスパラガス4~5月出荷量	290t	300t	330t	達成	—
トルコギキョウ秋出荷作型モデル地域	2産地	3産地	3産地	達成	—
需要に応える新品目・新技術を導入するモデル地区	18地区	12地区	17地区	達成	16地区
ジュース用トマト栽培面積	—	—	—	—	164ha

目標に対する成果の状況	関係機関及び農業者による実証ほやモデル産地・地区の設置などの結果、重点的に取り組んだ品目の生産拡大につながった。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	園芸作物は本県農業の主力分野であり、実需者ニーズに対応した生産供給体制の強化が課題であることから、現行どおり事業を実施し、競争力の高い園芸産地づくりを進める。